

「富岳」におけるOpenMPのタスク並列

2019年11月5日

富士通株式会社

第三基盤ソフトウェア事業部第一開発部

金子 正教

■ OpenMPのタスク機能の紹介

- 言語仕様
- サポート範囲
- 記述例
- タスクの実装
 - ライブラリを用いた実装
 - libompについて
 - 他社のlibomp対応
- 富岳の実装
 - コンパイラ
 - ライブラリ
 - C/C++の場合
- まとめ

■ task構文の仕様

```
!$omp task  [clause[[,] clause] ...]
    structured-block
!$omp end task
```

指示節 (*clause*) は以下のいずれか **赤字はOpenMP4.5仕様** **青字はOpenMP5.0仕様**

```
if ( [ task: ] scalar-logical-expression )
final ( scalar-logical-expression )
untied
default ( private | firstprivate | shared | none )
mergeable
private ( list )
firstprivate ( list )
shared ( list )
depend ( dependance-type : list )
priority ( priority-value )
in_reduction ( reduction-identifier : list )
allocatable ( [ allocator :] list )
affinity ( [ iterator ( iterators-definition ) :] locator-list )
detach ( event-handle )
```

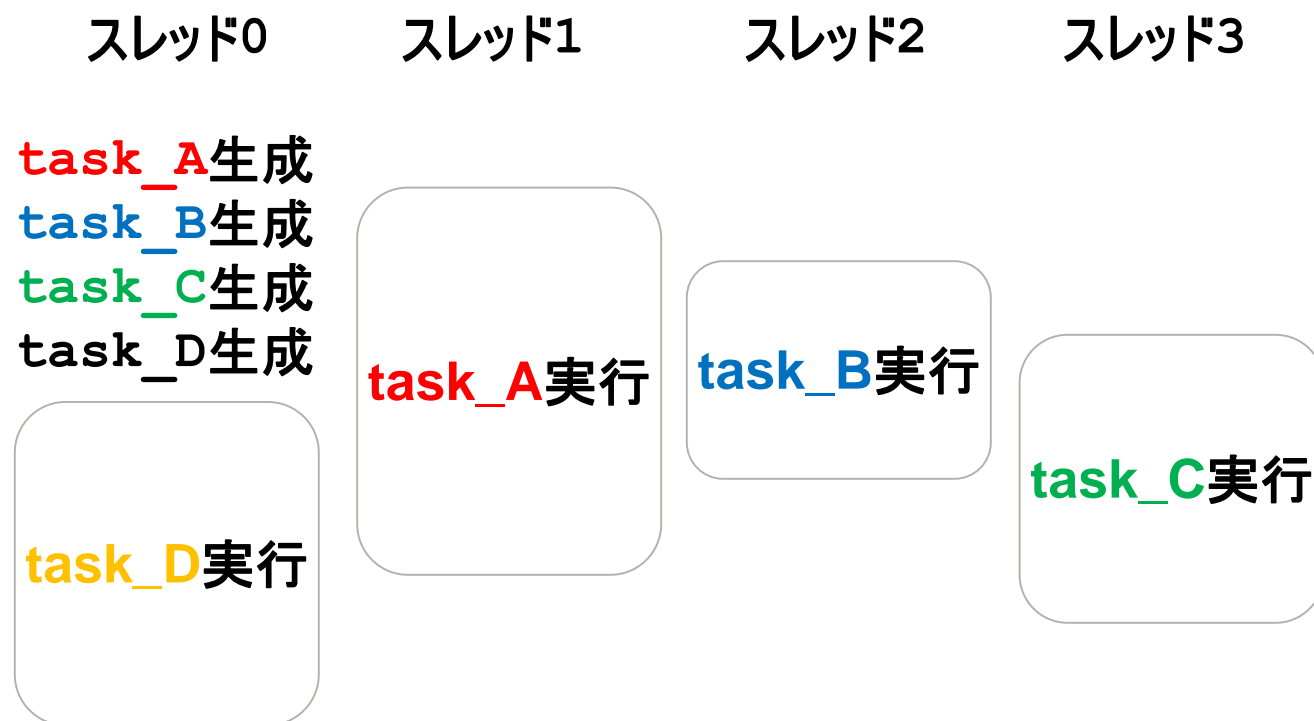
■ task構文

OpenMP4.0仕様	○
OpenMP4.5仕様 priority指示節	△ (動作保証)
OpenMP5.0仕様 in_reduction指示節	○
allocatable指示節	×
affinity指示節	×
detach指示節	×

■ task構文の記述例

```
!$omp parallel num_threads(4)
!$omp single
!$omp task
    task_A
!$omp end task
!$omp task
    task_B
!$omp end task
!$omp task
    task_C
!$omp end task
!$omp task
    task_D
!$omp end task
!$omp end single
!$omp end parallel
```

動作イメージ



■ ライブラリを用いて実装

■ ライブラリの機能

- タスク構造体の生成
- タスクの起動

ソース

```
subroutine foo()  
!$omp task  
...  
!$omp end task  
end subroutine
```



オブジェクト (疑似コード)

```
void _foo()  
{  
    // タスク構造体の生成  
    task = _omp_task_alloc(...);  
  
    // タスクの起動  
    _omp_task(task);  
}
```

- OpenMPの機能(タスク機能を含む)を実現する libomp というランタイムライブラリがある
- 京ではOpenMP3.1の機能を独自ライブラリで実装
- 富岳のコンパイラでは libomp を採用して、OpenMP4.0以降を実装

■ libompとは

- OpenMPのランタイムライブラリ
- 正式名称： LLVM OpenMP Runtime Library
- libompという名称は、ライブラリ名 (libomp.so) から
- IntelのOpenMPライブラリ libiomp5 (OSS版) がLLVMプロジェクトに取り込まれたもの

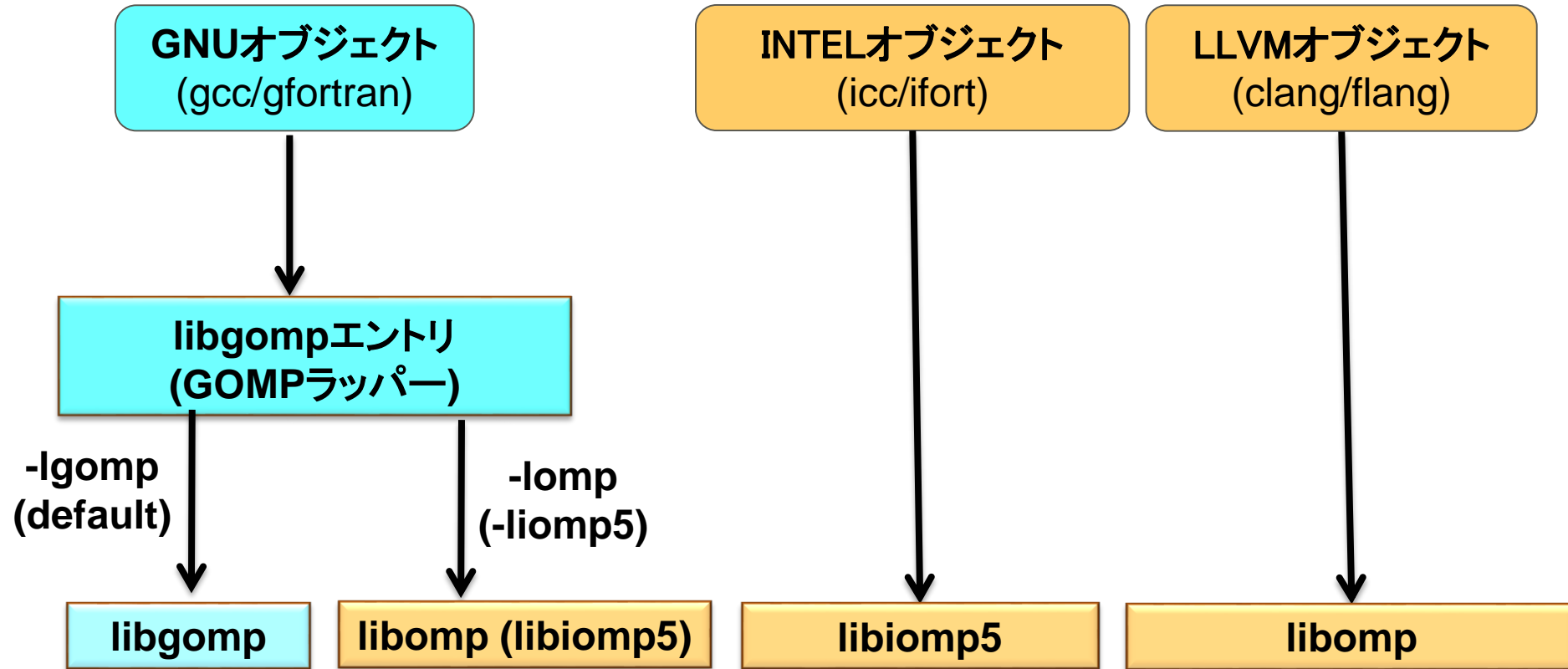
■ 業界標準

- ARM, Intelの各商用コンパイラで採用されている
- GCCとオブジェクト互換がある

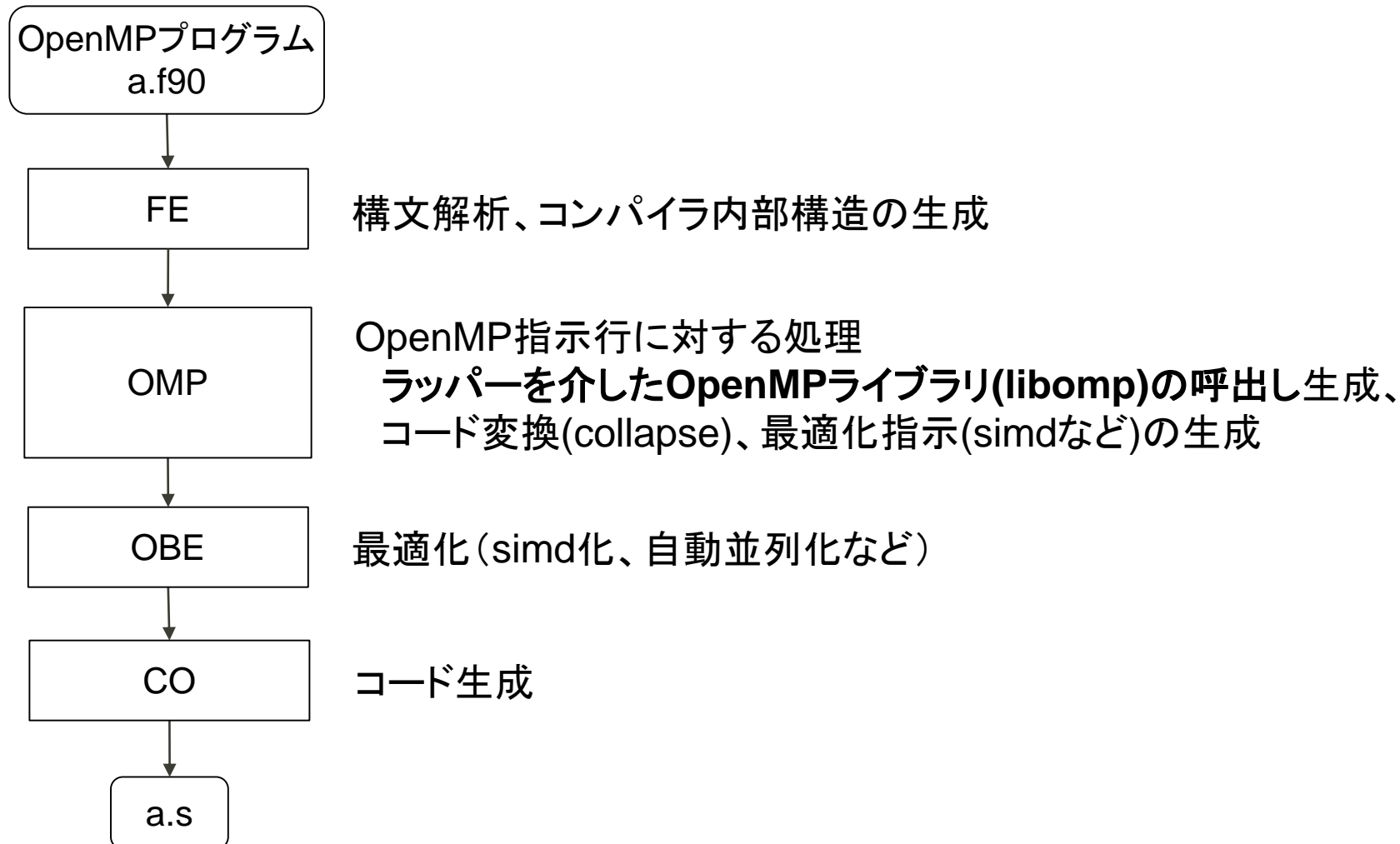
■ ライセンス

- University of Illinois/NCSA Open Source License (LLVMと同じ) と、MIT Licenseのデュアルライセンス
- IntelのCopyright、および使用許諾契約
- ARMの使用許諾契約

他社の libomp 対応



■ 処理フロー



■ タスクを libomp で実装

- タスク構造体の生成: `__kmpc_omp_task_alloc()`
- タスクの起動: `__kmpc_omp_task()`
- `private`変数のメモリ割り付けの考慮
firstprivate変数の生成とコピーをオブジェクトで行う

■ libompの富岳向け独自拡張

- コア間ハードバリア対応
- セクタキャッシュ対応

■ 【clangモード】 OpenMP4.0以降の仕様をLLVMベースで実装

-Nclang オプション

コンパイラ : LLVMベース

ライブラリ : LLVM OpenMPライブラリ (libompベースの富岳向け拡張ライブラリ)

■ 【tradモード(default)】 京との互換のあるコンパイラとランタイム

-Nnoclangオプション

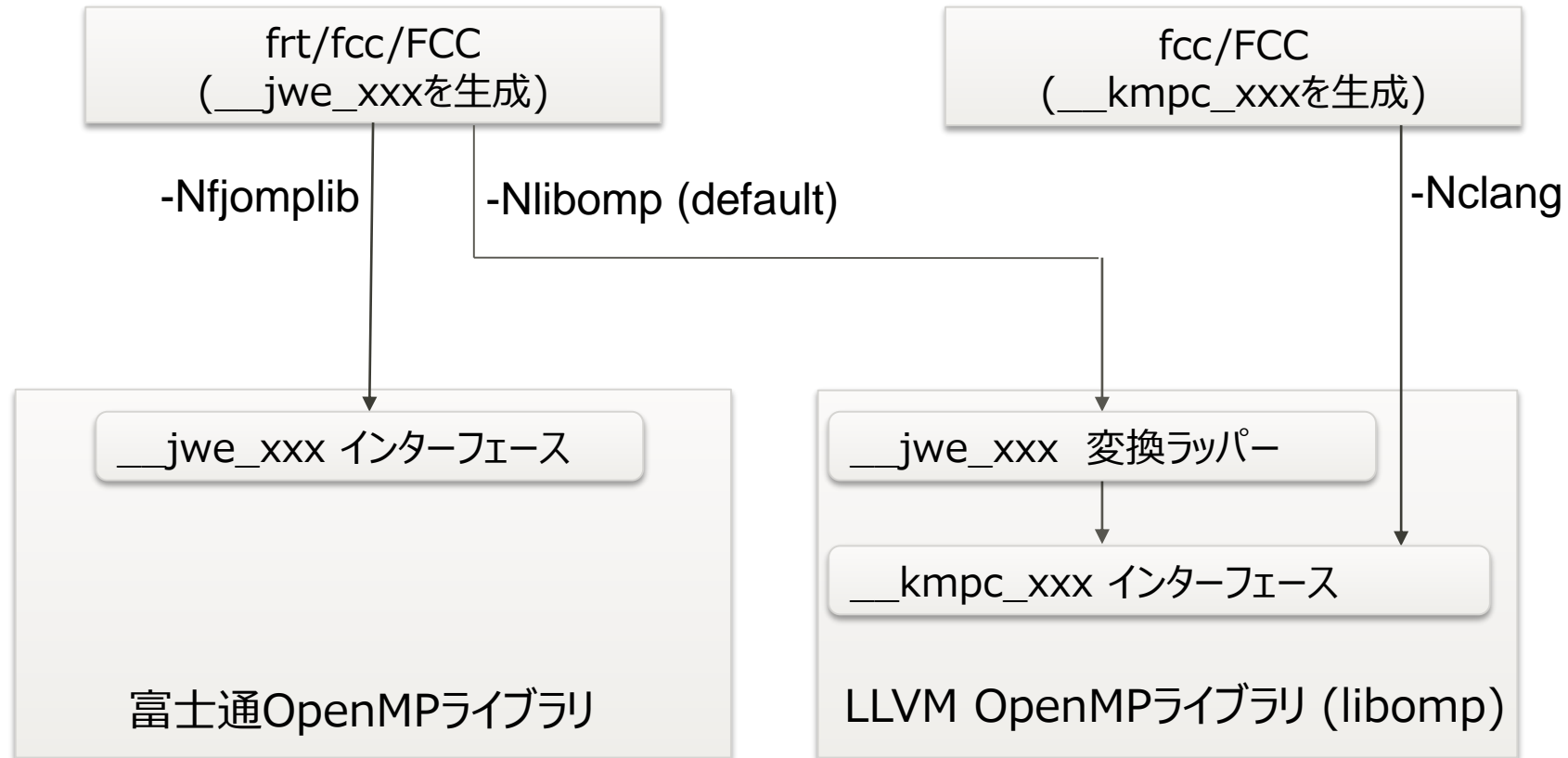
コンパイラ : OpenMP3.1+OpenMP4.0のsimd機能

ライブラリ : 富士通OpenMPライブラリとLLVM OpenMPライブラリをオプションで切り替え

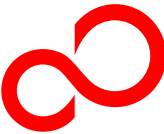
	clangモード -Nclangオプション	tradモード -Nnoclangオプション
LLVM OpenMPライブラリ(libomp) -Nlibompオプション	結合可	結合可 (default)
富士通OpenMPライブラリ -Nfjomplibオプション	結合不可	結合可

富岳の実装 (ライブラリ)

- LLVM OpenMPライブラリ内に
富士通OpenMPインタフェースを変換するラッパーを実装



- タスク機能の富岳での実装を紹介しました
- 京との互換を持ちつつ、新しい実装にチャレンジしています
- 富岳の完成後もOpenMPの規格に追随します



FUJITSU

shaping tomorrow with you